



ST-04 八幡神社

誉田別命を祭神とし、鳥居の先の144段の急峻な階段を登ると社殿が見えます。江戸時代は旗本高田氏の領地でしたが、明治維新後に鶴舞藩領となり、郷社に列格しました。本殿の柱上部や脇障子には見事な彫刻があり、棟札によると昭和9年に修理が行われました。境内には明治27～28年の日清戦争、明治37～38年の日露戦争の戦勝記念碑や、明治26年(1893)銘のある手水石があります。



ST-07 行福寺

天文3年(1534)年に下野の本泰寺3世日告が開基したと伝わります。元は顕本法華宗でしたが、法華系3宗派合同により、昭和16年に日蓮宗になりました。古都辺村名主家により、元禄2年(1689)銘のある四菩薩立像等が奉納されました。本堂に安置されるイボ取りの灰は、こするとイボが取れると地元で伝わります。境内には大きな銀杏と、付近には日之宮の再建移設碑があります。



ST-05 奈良の大仏

文化元年(1804)に、奈良村と周辺村々で再造したとされる石造の釈迦如来立像です。平将門伝説が残るこの地では、当初の盧舎那仏は銅像で、将門による建立と伝えられています。関東大震災後に蓮華座を再造し、東日本大震災後は像が修復されました。参道には樹齢100年を超える山桜の並木が続き、立像を囲んでスダジイ、スギ、イチヨウなどの大木が生い茂る風光明媚な場所です。



ST-06 熊野神社

紀州熊野村出身の瀧本権之助信広という者が当地に住み、ある日の夢で本国紀伊の氏神崇拝を諭され、正暦3年(992年)に社殿を建立し、熊野権現を勧請したのが始まりと伝わります。市指定天然記念物の大銀杏は、根廻り7.8mの太い幹を持ち、母乳をあげる母親が気根を削り煎じて飲む風習がありました。彼岸花の名所として知られ、境内には享保12年(1727)銘の鳥居や同17年銘の灯笼等があります。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちほらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133

令和7年3月 第1版第1刷発行

I Museum Field

市東



村田川が育んだ自然豊かな市東エリア。中世の土気城主酒井定隆の宗教政策上総七里法華の影響が色濃く残り、日蓮宗文化を培ってきました。平将門伝説と四季折々の彩りが調和する魅力的な景観に包まれます。

I Museum



ST-01 正蓮寺

慶長3年(1598)創立の日蓮宗寺院で、大綱の小西法縁、中野の光徳寺の末寺となります。本堂には、当地区付近の日蓮宗寺院に多くみられる天井絵があり、家紋や十二支等が描かれた110枚から成っています。江戸時代から寺子屋を開校し、市東第一小学校に連なる瀬又小学校は、明治期にこの地に開校しました。入口には、享保6年(1721)に18世の住職が建てた題目塔等があります。



ST-02 永久寺

寛永元年(1624)創建の日蓮宗寺院で、日円が開山したと伝わります。当寺を拠点にした周辺地域住民により、日蓮宗総本山久遠寺の山号としても知られる身延山(山梨県身延町)への参拝が盛んに行われてきました。本堂手前の薬師堂は、昭和17年に近くの旧家から改築移転され、明治20年(1887)の絵馬等も奉納されています。参道入口に建つ題目塔は、享保14年(1729)の銘があります。



ST-03 光徳寺

寛正元年(1460)、現松戸市平賀の本土寺第九世妙高院日意上人が、原信濃守の居城跡に隠棲して創建し、岩富城主原左衛門尉の外護を受けたと伝わる日蓮宗寺院です。入口には宗祖日蓮の500年遠忌の記念碑が、境内地には日蓮宗開宗750年記念に建立した五百羅漢、約1000株の紫陽花が咲きます。明治15年、瀬又・国吉・永吉小学校が合併して三成小学校がこの地に開校しました。